

豆腐消え湯が減り湯豆腐の終り

湯豆腐に豆腐煮られて食はれけり

湯豆腐に肩までつかる豆腐かな

湯豆腐に何の銜ひもなき豆腐

湯豆腐の湯加減そして出汁加減

湯豆腐にガスのホースの青白き

湯豆腐の思ひは過去へ向くばかり

湯豆腐の湯加減をみるツマミなり

湯豆腐にガスの炎の真青かな

湯豆腐にふつつつと我が考へる

湯豆腐や時雨れてるてもるなくても

湯豆腐にこれは鶉の卵かな

湯豆腐や良き事のみを振り返り

湯豆腐に隙間風なき暮しかな

湯豆腐に醤油をつけて葱を乗せ

湯豆腐を好みし人の句なりけり

湯豆腐やふりつむ雪はみえねども

湯豆腐の湯に漂うて葱残る

壇湯豆腐の忌ともいふべきうすあかり

湯豆腐の湯気に託せし思ひあり

湯豆腐の湯を濁らせて葱残る

湯豆腐に疲れを癒す豆腐とも

湯豆腐の湯気に曇りし窓に雪

湯豆腐の葱買うてある厨かな

湯豆腐に一人の部屋を暖むる

湯豆腐に雪より白き豆腐かな

湯豆腐や葱の甘きを言ひもして

湯豆腐の豆腐の控へ皿冷た

湯豆腐や降り出してはや雪まじり

角湯豆腐に葱も生姜も鯉節も

湯豆腐の冷えて煮凝にもならず

温もりの白よ四角よ湯豆腐は

湯豆腐にふつと昆布の端の泡

湯豆腐の湯気天井の冬灯

湯豆腐の白き四角を熱々に

湯豆腐に昆布ことこと機嫌良き

「よて」といふ湯豆腐の火を消してより

湯豆腐は色白にしてお人好し

湯豆腐に柎目の如き板昆布

湯豆腐の火を消したれば湯気も消え

湯豆腐の豆腐失せたる湯の香り

湯豆腐の昆布ひっそり鍋の底

湯にゆれて早や湯豆腐の豆腐なり

湯豆腐と言ひて豆腐湯とは言はず

湯昆布の上に豆腐を浮ばせて

湯豆腐のゆらゆら煮られ食はれけり

湯豆腐や戯曲も多く書きたれど

湯豆腐のあつき昆布を愛づるなり

湯豆腐にゆれて豆腐の冥利かな

湯豆腐の鍋を二つの大家族

湯豆腐の昆布の贅は言はずおく

湯豆腐の昆布に贅を尽しけり

湯豆腐に好かれ寄鍋にも好かれ

湯豆腐の土鍋取り出す戸棚かな

湯豆腐の蓋を置くべきお盆あり

湯豆腐の対の小鉢と皿とかな

熱々の四角浮ぶよ湯豆腐は

湯豆腐に散りぬるれんげ穴模様

湯豆腐の豆腐失せたる湯にも似て

吉良邸に湯豆腐囲む五六人

百葉の長に湯豆腐奉る

湯豆腐の食後にハンバーガーも食ふ

湯豆腐の部屋へブーツを脱がされて

湯豆腐を食つて眠たき齢かな

湯豆腐へブーツの客を案内して

豆腐消え湯が減り湯豆腐の終り

湯豆腐に一人の部屋を暖むる

湯豆腐の豆腐の控へ皿冷た

湯豆腐の湯気天井の冬灯

「さて」といふ湯豆腐の火を消してより

湯豆腐の火を消したれば湯気も消え

湯にゆれて早や湯豆腐の豆腐なり

湯豆腐のゆらゆら煮られ食はれけり

湯豆腐の湯加減をみるツマミなり

湯豆腐や時雨れてゐてもゐなくても

湯豆腐に隙間風なき暮しかな

湯豆腐やふりつむ雪はみえねども

湯豆腐の湯気に曇りし窓に雪

湯豆腐や降り出してはや雪まじり

湯豆腐の豆腐失せたる湯の香り

湯豆腐に肩までつかる豆腐かな

湯豆腐にガスのホースの青白き

湯豆腐にガスの炎の真青かな

湯豆腐にこれは鶉の卵かな

湯豆腐に醤油をつけて葱を乗せ

湯豆腐の湯に漂うて葱残る

湯豆腐の葱買うてある厨かな

湯豆腐に昆布ことごと機嫌良き

湯豆腐に柾目の如き板昆布

湯豆腐の昆布の贅は言はずおく

湯豆腐の土鍋取り出す戸棚かな

湯豆腐の蓋を置くべきお盆あり

湯豆腐に散りぬるれんげ穴模様

吉良邸に湯豆腐囲む五六人

百薬の長に湯豆腐奉る

湯豆腐の食後にハンバーガーも食ふ

湯豆腐を食つて眠たき齢かな

2025 全然堂歳時記 冬

【湯豆腐】

20句

t-3

2025年2月7日 10行2段12ボ桐10

湯豆腐や時雨<sup>1</sup>れてゐても<sup>2</sup>ぬ<sup>3</sup>なくて<sup>4</sup>も湯豆腐の湯気天井の冬灯  
 湯豆腐に隙間風なき暮しかな湯豆腐に柂目の如き板昆布  
 湯豆腐の土鍋取り出す戸棚かな湯豆腐の昆布の贅は言はずおく  
 湯豆腐の葱<sup>1</sup>買<sup>2</sup>う<sup>3</sup>てある厨<sup>4</sup>かな湯豆腐のゆらゆらゆられ煮られけり  
 湯豆腐の蓋を置くべきお盆あり百葉の長に湯豆腐奉る  
 湯豆腐の控へ豆腐の皿冷た湯豆腐にこれは鶉の卵なり  
 湯豆腐に散りぬるれんげ穴模様湯豆腐に醤油をつけて葱を乗せ  
 湯豆腐にガスのホースの青白き湯豆腐の湯に漂うて葱残る  
 湯豆腐にガスの炎の真青かな湯豆腐を食つて眠たき<sup>1</sup>齡<sup>2</sup>かな<sup>3</sup>  
 湯豆腐で一人の部屋を暖むる吉良邸に湯豆腐囲む五六人

2025 全然堂歳時記 冬

【湯豆腐】

20句

2025年2月7日発 10行2段12ボ桐10

湯豆腐や時雨れてゐても<sup>なく</sup>なくても 湯豆腐に柎目の如き板昆布  
 湯豆腐に隙間風なき暮しかな 湯豆腐の昆布の贅は言はずおく  
 湯豆腐に泥葱の束買うてある 湯豆腐に肩までつかる豆腐かな  
 湯豆腐の土鍋取り出す戸棚かな 湯豆腐のゆらゆらゆられ煮られけり  
 湯豆腐にガスの炎の真青かな 百葉の長に湯豆腐奉る  
 湯豆腐で一人の部屋を暖むる 湯豆腐に醬油をつけて葱を乗せ  
 湯豆腐の湯気天井の冬灯 湯豆腐にこれは鶉の卵なり  
 湯豆腐の蓋を置くべきお盆あり 湯豆腐の湯に漂うて葱残る  
 湯豆腐に散りぬるれんげ穴模様 湯豆腐を食へば眠たく他愛なく  
 湯豆腐の控へ豆腐の皿冷た 吉良邸に湯豆腐囲む五六人

2025 全然堂歳時記 冬

【湯豆腐】

20句

5

2025年2月7日発

10行2段12字 桐10

湯豆腐や時雨れてゐてもゐなくても 湯豆腐に柀目の如き板昆布  
湯豆腐に隙間風なき暮しかな 湯豆腐の昆布の贅は言はずおく  
湯豆腐に泥葱の束買うてある 湯豆腐に肩までつかる豆腐かな  
湯豆腐の土鍋取り出す戸棚かな 湯豆腐のゆらゆら煮られけり  
湯豆腐にガスの炎の真青なり 百葉の長に湯豆腐奉る  
湯豆腐で一人の部屋を暖むる 湯豆腐に醤油をつけて葱を乗せ  
湯豆腐の湯気天井の冬灯 湯豆腐のこれは鶉の卵なり  
湯豆腐の蓋を置くべくお盆あり 湯豆腐の湯に漂うて葱残る  
湯豆腐に散りぬるれんげ穴模様 湯豆腐を食へば眠たく他愛なく  
湯豆腐の控へ豆腐の皿冷た 吉良邸に湯豆腐囲む五六人

2025 全然堂歳時記 冬

【湯豆腐】

20句

2025年2月7日発

10行2段12ボ桐10

湯豆腐や時雨れてゐてもゐなくても 湯豆腐に柀目の如き板昆布  
湯豆腐に隙間風なき暮しかな 湯豆腐の昆布の贅は言はずおく  
湯豆腐に泥葱の束買うてある 湯豆腐に肩までつかる豆腐かな  
湯豆腐の土鍋取り出す戸棚かな 湯豆腐のゆらゆら煮られけり  
湯豆腐にガスの灸の真青なり 百薬の長に湯豆腐奉る  
湯豆腐で一人の部屋を暖むる 湯豆腐に醤油をつけて葱を乗せ  
湯豆腐の湯気天井の冬灯 湯豆腐のこれは鶉の卵なり  
湯豆腐の蓋を置くべくお盆あり 湯豆腐の湯に漂うて葱残る  
湯豆腐に散りぬるんげ穴散らす 湯豆腐を食へば眠たく他愛なく  
湯豆腐の控へ豆腐の皿冷た 吉良邸に湯豆腐囲む五六人